

有限会社サンコー

新型製版機 (CTP) の導入による高精度レンチキュラー製品の開発



青、赤、黄の3色のグラデーションが美しいポーチ（左）と、鉄腕アトムが変化するワッペン付きのTシャツ

軟質素材にも高精細印刷

見る角度によって印刷物の

絵柄が変化したり、立体感が

あるように見えるレンチキュ

ラー印刷。この特殊印刷を主

力商品とするサンコーは20

14年11月、新型製版機（C

TP）の導入により、さらに

技術を進化させている。

カメラ型の凸レンズが線

状に並ぶプラスチックシート

の裏面に専用の画像処理（印刷）

を施すことで、光の屈折によ

り画像が変化するように見え

るのがレンチキュラー印刷の

原理。このレン

ズがより細か

く、線の数（レ

ンズの本数）も

多くなるほど画

像は鮮明になる

が、それには製

版機も高精度が

求められる。

一般的なオフ

セット印刷のレン

チキュラーは75L

PI、100LP

I（LPI）とい

ンチ当たりのレン

ズの本数が多い

が、サンコー社の新型機は1

67LPIに十分対応。印刷

の細かさも一般的なオフセッ

ト印刷の175線（線ⅡAM

製版の印刷線数）に比べ、6

00線の高精細を実現してい

る。同社の吉田明華さんは「画

像の鮮明さがアナログテレビ

から4Kテレビになった」と

話す。

軟質素材へのレンチキュ

ラー印刷もクオリティーが格

段に向上。薄さ0・25ミリの

軟質塩ビ（PVC）にも印刷

できるように。薄いPVCは

ミシン縫製や熱圧着などの加

工がしやすく、商品企画もT

シャツやジャケット、ポーチ、

ブックカバーなど幅が広がっ

た。同社の軟質レンチキュラー

を使ったグッズは鉄腕アトム

Tシャツ、有名アパレルメー

カー製品などメジャー展開も

多い。

硬質素材のレンチキュラー印

刷は文房具やカードなど用途が

限られる。その上、軟質素材は

技術的に難しく、国内で手掛け

るのは同社のみ。営業・企画担

当の吉田廣裕さんは「海外でも

軟質塩ビにここまで細かく、薄

いレンチキュラーができる会社

はない。実績があるのはわが社

だけ」と自信を見せる。

COMPANY OVERVIEW

■ 有限会社サンコー

実施場所：戸田市美女木4-18-3 戸田工場

本社：戸田市美女木4-18-3

代表者：代表取締役 吉田 永賛

設立：1978年4月 資本金：1000万円 従業員数：12人

電話：048(421)9168

モ▶ 硬い素材を対象にした硬質レンチキュラー印刷も、有名アーティストのCDジャケットなど多方面で採用。ほかに各種型抜き加工、金型治具製造も行っている。